

2016 AUTOBACS SUPER GT Round 7 BURIRAM SUPER GT RACE

2016年10月8日(土)~10月9日(日)

決勝 レポート

66 Laps



場所: チャン・インターナショナル・サーキット(タイ) 1周 4,554m

天候: 晴れ / コース: ドライ / 気温: 32℃ / 路温: 41℃ / 観客動員数: 27,948人

痛恨のクラッシュでリタイア

2016年 SUPER GT 第7戦 BURIRAM SUPER GT RACE の決勝が開催された。タイの首都バンコクから北東に400kmに位置するチャン・インターナショナル・サーキットは、この日も殆ど雲がない一日となった。

10月9日(日)

<決勝 66LAPS / 15:00~>

今回は井口卓人がスタートを受け持つ。スタート直後の混乱で井口は1周目に15位までポジションを落としてしまう。その後もウエイトハンディに苦しむ#61 SUBARU BRZ R&D SPORT は、4周目に18位まで順位を落とすが井口の頑張りで22周目には7位までポジションを上げる。28周目にピットイン、素早く給油とリアタイヤ交換を済ませ山内英輝に交代する。山内も素晴らしい走り



www.rdsport.net

で攻めるが、34周目に痛恨のクラッシュ、レースを終える。第7コーナー手前の縁石でバランスを崩したのが原因であった。なお、GT500クラスの優勝は#19 WedsSport ADVAN RC Fが、GT300クラスは#25 VivaC 86 MC が制した。

■本島監督 コメント



今回はウエイトハンディ94kg との戦いでしたが、何とか踏ん張ってポイント獲得したかったです。次戦もてぎはウエイトハンディも減るので結果を出せるよう頑張ります。

■井口 卓人 コメント



まず、現地に応援に来て頂いた皆さん、パブリックビューイング、ユーチューブで応援をして頂いた皆さん、結果を出せずに申し訳ありませんでした。94kg のウエイトのせいか、練習走行から苦戦が続きました。しかし、予選では Q1を突破し、苦しい中でも強さを見せる事が出来たと思います。決勝では、スタートから良い流れを作る事が出来ずに、最終的にはリタイアという結果になりました。まだまだ、チャンピオンの可能性が無くなったわけではありません。最終戦までに、しっかりと準備をして、悔いのない最終戦にしたいと思います。

■山内 英輝 コメント



完全に自分のミスです。高速コーナーの出口で縁石を踏み、スキッドブロックが縁石に当たってしまい、マシンが完全に宙に浮いてコントロールできずクラッシュしてしまいました。コースに出て、ここからは自分しかポジションを上げられないと思い攻めた結果ミスをしてしまいました。色々な方に迷惑をかけてしまったこと反省しています。気持ちをしっかりと切り替えて、次のもてぎに向けて頑張ります！

決勝の詳細に関しては SUPER GTホームページ <https://supergt.net/> 、
またSUBARUモータースポーツニュース <http://www.subaru-msm.com/2016/sgt/> もご覧ください

2016年10月9日
SUBARU BRZ
アールアンドデースポーツ
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net